

『平岸まちづくり指針』が完成しました！

札幌市では、「地域交流拠点(主要な地下鉄駅周辺等)」のまちづくりを進めるため、平岸地区に関わる、学生さんも含めた様々な職業・年齢の方々が参加し、まちづくり指針づくりに向けたワークショップを2年間、計6回開催しました。

ワークショップやアンケート等による皆様のご意見を踏まえ、この度、『平岸まちづくり指針』が完成しました！

指針の概要版は同封している資料をご覧ください。また、指針の本編は札幌市のホームページ「地下鉄平岸駅周辺地区での取組(<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/hiragisi.html>)」をご参照ください。

【第6回ワークショップの結果】指針に基づいた今後の取組について話し合いました。

(1) 大学生の活動結果と今後に向けて

2019年2月23日に、平岸の魅力アップイベントとして、地域の子も達などと装飾品を作成し、地区内の店舗に飾ってもらったよ。

(主な意見)

- ◆広報について、行政との連携や、児童会館、保育園や小学校などに積極的にPRしたほうがよい。
- ◆取組の目的を明確にし、地域のニーズをふまえて、対象の拡大や広く知ってもらえる方法などを今後検討したほうがよい。
- ◆商工会、町内会、まちづくり協議会などと連携できることがあるのではないかと。



みんなで楽しく、一生懸命に作りました！



(2) 取組提案 (ひらぎしの交流拠点となるカフェ) について

1. 場のイメージ

雰囲気の良いカフェにふらっと入ると、平岸の情報がたくさん知ることができ、教えてもらえる。

高齢者が立ち寄って、オーナーや他のお客さんと笑顔で話している。

放課後、子どもも立ち寄って、ジュースを飲みながら友達と話をしている。

小さな子ども連れのお母さんが、子どもの散歩の途中でゆっくりしている。

学生が集まって、これからのことなどをいろいろ話している。

週末など、小さなイベントが開催され、地域の人が集まっている。

オーナーは、平岸の主となり、おばあさんになってほしい。平岸のことを語り、地域のたくさんの人に支えられてカフェを続けている。

(主な意見)

- ◆素晴らしいアイデアであり、今後、戦略的な運営方法など、継続できる方法を考えるべき。
- ◆にぎわいや交流に、災害時の対応に関する視点も加えてはどうか。
- ◆多様な世代が集まれるような場所のほか、何か特徴的なものがあると良い。
- ◆素晴らしい提案で、是非協力したい。

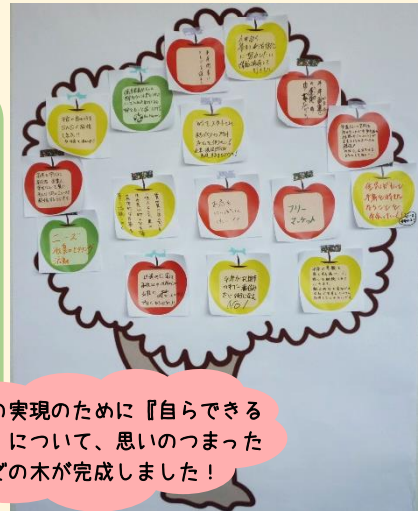
ワークショップ参加者から、今後、地域の拠点となるカフェをつくりたいという提案があったよ！こんなカフェができたなら素敵だね。



(3) 指針の実現に向けてやるべきこと、やりたいこと、やれること

(必要な取組)

- ①ホテルが見られる場を活用した交流
- ②学生による活動の活性化と継続
- ③ぴらけしの有効活用
- ④平岸の魅力や特徴づくり
- ⑤保育環境や飲食店、駐輪場などの充実
- ⑥取組の窓口機能設置や積極的な情報発信
- ⑦観光客への対応
- ⑧指針の推進に向けたプラットフォームづくり
- ⑨道路に面した敷地の活用
- ⑩交流活動の活発化



指針の実現のために『自らできること』について、思いのつまったりんごの木が完成しました！

指針の実現に向けて、みんなで活発に話し合いました。



発行・お問い合わせ先

日本データサービス(株)企画部 電話: 011-780-1121 (担当 藤井、白田)

札幌市まちづくり政策局都市計画部 地域計画課 電話: 011-211-2545 (担当 太田、山田)



さっぽろ市
02-B03-19-830
31-2-636